

< 経済史・経営史・植民地研究・台湾研究 >

資料 No.12-2019-920 / Oct., 2019

公益社団法人 糖業協会所蔵

植民地期台湾産業・経済関係史料 オンライン版

日清戦争の結果、わが国の領土となった「台湾」において、台湾総督府が打ち出した産業振興策の中心は近代的製糖業の育成にあり、明治30年代後半から40年代初頭にかけて、台湾には内地資本による大規模な近代的粗糖工場が次々に設立されるにいたった。また明治43年には、台湾の粗糖会社が「台湾糖業連合会」(その後「糖業連合会」、「日本糖業連合会」と改称)を結成し、第一次世界大戦とその戦後恐慌、そして満州事変、日中戦争を経て太平洋戦争の終結にいたるまで、カルテル団体として製糖業界の繁栄を支えていった。

本データベースでは、上述した「糖業連合会」の活動を網羅する協議会議事録ほかを収録し、近代的製糖業発達史の全貌を詳細かつ総合的に明らかにするとともに、内地糖業資本による本格的対外進出の歴史を浮き彫りにしている。また、台湾総督府が実施した農業基本調査ほかの発行文書に加え、総督府役人の個人文書などの未公開史料も豊富に収録し、植民地期台湾の実態経済のみならず、甘蔗や米を中心とした農業振興策決定にいたる経緯をも明らかにしている。

最も長期にわたり植民地統治された台湾の数少ない史料として、経営史・経済史を中心とする社会科学全般の植民地研究者、あるいは戦前の代表的業界団体であった糖業連合会の記録としてカルテル史研究者に広くお勧め申し上げます。

・完全買切型（同時アクセス数 無制限 アクセスフィーなし）

価格はお問い合わせ下さい

収録資料例

第一部：糖業連合協会関係史料

糖業連合会協議会議事録類、連合会理事会議事録類、連合会所収
極秘・秘文書、連合会台湾支部議事録、三井物産砂糖部報

第二部：台湾総督府発行史料ほか

台湾総督府農業基本調査書、旧慣調査(台湾旧慣制度調査
班、臨時台湾旧慣調査会第一部調査報告書)、中瀬文書(酒
精に関する諸調査票、ガソリン代用トシテノ酒精、台湾ニ於
ケル農家ノ原料手取金ノ割合、製糖会社事業経営ニ関スル成
績表、農業苦力賃金調、原料価格決定ノ形式及発表ノ時期、
朝鮮総督府砂糖消費税改正、朝鮮総督府産業調査ニ関ス
ル件)、台湾総督府文書(台湾糖業ノ発展力経済界ニ及ホシ
タル影響、台湾糖業一斑、臨時台湾糖務局年報、民生局殖
産報文)、各種調査会議事録(台湾総督府臨時産業調査会議事録・答申書、熱帯産業調査会答申諸、米国
調査会議事録)その他(新渡戸稲造「糖業改良意見書」、拓務省「糖業沿革誌」、相良捨男「経済上より見たる
台湾の糖業」中川虎之助「糖業政策参考書類」、藤山雷太「台湾遊記」、竹越与三郎「台湾統治志」、ほか

無料トライアル受付中！

(Yutrans / 丸善：共同出版)

- 表示価格は概算参考価格(税抜)です。概算参考価格にはライセンス料と手数料が含まれます。掲載製品はリバースチャージ対象製品です。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由による価格の変更や掲載タイトルの変更につきましては、予めご了承の程お願い申し上げます。
- 正式なお見積もりは、別途ご用命ください。

日本総代理店

MARUZEN-YUSHODO

丸善雄松堂株式会社 [学術情報ソリューション事業部 研究支援コンテンツ開発部]

〒105-0022 東京都港区海岸 1-9-18 国際浜松町ビル

Tel: 03-6367-6025 Fax: 03-6367-6240 e-mail: kenkyushien@maruzen.co.jp

